

アグリテック集積戦略

埼玉県 深谷市 産業振興部 産業ブランド推進室



埼玉県深谷市

深谷市の紹介

- ·人口 1 4 3 , 4 9 0 人
- ・面積 138・37平方キロメートル ※田畑が47・5%
- ・埼玉県北西部に位置し東京都心から70キロメートル圏にある。
- ・関越自動車道、国道17号、140号、254号などの主要道路を有し、地域の玄関口として関越自動車道花園インターチェンジがある。
- ・鉄道はJR高崎線、秩父鉄道の2路線において駅を有し、東京都心、上信越、 秩父方面への交通の要衝となっている。
- ・利根川と荒川の2大河川の肥沃な大地により深谷ねぎやブロッコリー、トウモロコシなどの農作物が全国ブランドとなっている。
- ・ユリやチューリップなどの花卉栽培も盛ん





トピックス

- ◆ 渋沢栄一翁が 新1万円札の肖像に!
- ◆ 大河ドラマ放映中!



◆ 花園IC拠点整備プロジェクト(仮称)ふかや花園プレミアム・アウトレット(三菱地所・サイモン株式会社)

深谷テラス ヤサイな仲間たち ファーム (キユーピー株式会社)





深谷市産業ブランディング推進方針概念図

農業を核とした産業のブランディング ~「儲かる農業都市ふかや」の実現~

人を呼び込むための取組

- 人が深谷に来る理由を作るための観光 資源として野菜を活用していく。
- ・人を呼び込むため、深谷といえば「野菜を楽しめるまち」というイメージを確立することに取り組む。
- ・深谷市の農業の魅力を発信し、深谷市 に人を呼び込んでいく。

野菜を楽しめるまちづくり戦略



連携

地域内でお金が循環

地域内経済循環を 高める取組

- ・お金の地域からの漏れを防ぎ、 地域内における経済循環を高め るため、地域通貨を導入する。 ・人口減少社会において公助が 減退する状況の中、住民の自 助・共助を引き出すインセン ティブとして地域通貨を活用し ていく。
 - (仮) 地域通貨導入戦略

地域内でお金が循環

新たな企業を誘致するための取組

- ・アグリテックとは、農業と製造業・ITの 先進技術を融合することにより、農業の生 産性(付加価値額)を高める取組のことで ある。
- ・こうしたアグリテックを活用し、第一次 産業においては農家の所得向上、第二次産 業においてはテック企業等の誘致・支援及 び加工食品の開発、第三次産業においては 6次産業化などの取組によりサービス産業 の拡大を図り、これらを総合した取組を展 関することで「儲かる農業都市ふかや」の 実現を目指す。

アグリテック集積戦略



地域内でお金が



2019年3月 アグリテック集積戦略策定





深谷市の経済効果分析

「農業」と「食料品製造業」が強い

影響力係数と感応度係数がともに高い産業は、地域にとって核となる産業である。

第1象限

他産業へ与える影響力が大きく、同時に他産業から受ける感応度も 大きい産業で**地域の取引の核となっている産業**

一般的には、基礎資材などの原材料製造業部門がこれに該当し、鉄鋼、パルプ・紙、化学製品等が含まれる。

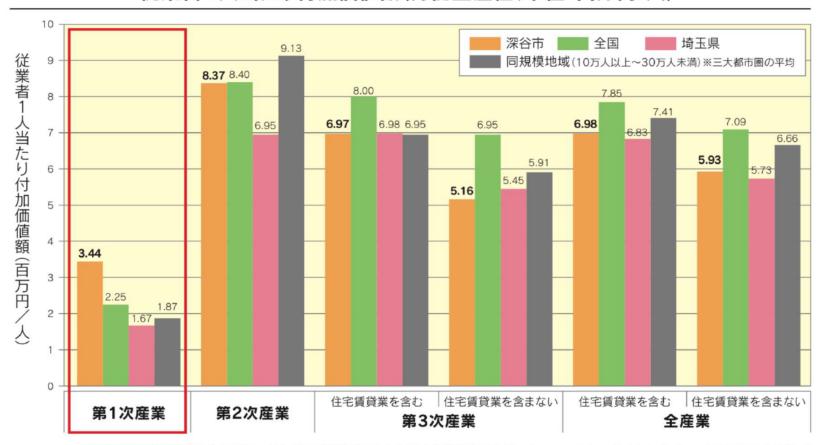


埼玉県深谷市

深谷市の労働生産性

強みを活かして伸び代を伸ばす

従業者1人当たり付加価値額(労働生産性、単位:百万円/人)



出典: 「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「平成22年国勢調査」(http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/)より作成



アグリテック集積へ

市の課題

- 成長・技術革 新の高い企業
- 波及効果の高い企業



市の特性

農業、食品加工業の影響力高い





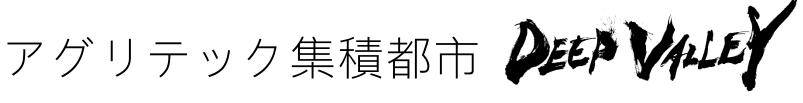
※アグリテック

農業(Agriculture)とテクノロジー(Technology)を組み合わせた造語。 深谷市が考えるアグリテックは、農業が抱える課題を解決する知識 やノウハウ、技術等広く差します。

実現に向けたイメージ



埼玉県深谷市









VISION 深谷から全国へ、世界へ 企業と共に向かっていく



アグリテックビジネスコンテストを開催



イノベーターよ

深谷に集え

応募資格

受賞後に、深谷市の農家が抱える農業課題の解決や 改善に向けた取り組みを実施できる個人・法人の方

(応募者の所在地については深谷市内外を問いません)

募集部門

本アワード終了後1年以内を目処 に深谷市での実証事業の開始がで き、本市の農業現場の課題解決に 重点をおいた提案を募集

未来創造部門

本アワード終了後2~5年を目処に深 谷市での実証事業の開始を目指し、 本市から日本全体の農業の未来を創 造することに重点をおいた提案を募集

表彰受賞特典

出資賞金総額 1000万円 /







※表彰内容は予告なく変更する可能性がございます。予めご了承ください。 ※出資金額については、出資可否を含めた受賞者との協議の上決定します。

開催スケジュール

応募受付期間

2020年5月18日(月)~6月19日(金)

一次書類審査:6月下旬

二次プレゼン審査:7月中旬

ファイナルステージ

10月2日(金)





DEEP VALLEY Agritech Award 2020

オンライン開催







表彰式

現場導入部門 最優秀賞 株式会社 レグミン

未来創造部門 最優秀賞 AGRIST 株式会社









アグリテック企業の進出

(株)レグミン 農薬散布ロボット グリーンラボ(株) アグリワーケーション施設 ONE FARM







DEEP VALLEYに参画する企業のメリット





農業課題×アグリテック





アグリテック導入支援

深谷市アグリテック導入支援事業補助金について

詳しい情報は補助金交付要綱をご確認ください。

※1:「深谷市アグリテック導入支援事業補助金交付要綱」内の別表をご確認ください。



目的

農業者のAI、ICT、IoT等の最新技術やロボット技術を活用したアグリテックを推進するための機器等の導入に支出する経費の一部を補助することにより、儲かる農業の創造に向け、戦略的な農業の推進等を図ることを目的としています。

補助対象事業及び経費

深谷市農業用生産基盤整備等活動補助金に該当しない事業に要する 経費(消費税及び地方消費税を含まない額)で、事業費が10万円以上 のものとします。対象事業及び経費の詳細は別表(※1)をご確認くださ い。

なお、本サイト内の「アグリテック一覧」や農水省「スマート農業技術カタログ」なども参考としてご覧ください。※掲載されている製品の効果を深谷市が確認・認定しているものではありません。

補助対象者

別表(※1)記載の採択条件を満たし、補助対象事業が国及び県の補助 事業を受けていないこと。また、市税に滞納がないこと。

補助額等

補助金交付要綱をご確認ください。



国に求める提案及び要望

- ▶スマート農業、アグリテック企業間の連携によるイノベーションの創出、また、農家が現場レベルで求めるアグリテックのラインナップの充実を実現するため、近郊農業のモデルケースとしてアグリテック関連企業の集積(産業クラスター)について支援を行なって欲しい。
- ▶スマート農業やアグリテックに関する新たな技術やサービスに関しては、その有用性の判断や活かし方についての知識や専門性を本市においては十分に持ち合わせていない。そこで、現場での実証、技術及びサービス開発の取組に国にも参画していただき、現場における農業課題の解決に一緒に取り組んで欲しい。



論語と算盤



